

# 茨木工業

1

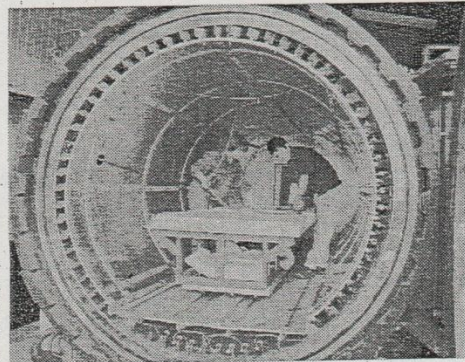
幅広く供給

「繊維強化プラスチック（FRP）」の「何なら何でも任せて」と、茨木工業社長の豊留永久は自信を見せる。「FRP製品は中の繊維によって製造元が分かれていくことが多いが、うち



はガラスとカーボンのどちらも対応できる」のが理由だ。「FRPを総合コンサルティングできるのが当社の最大の強み」といふ。船舶部品や鉄道車両部品、産業用ロボットのアームなど、同社のFRP製品の供給分野は幅広い。手作業によるウェットレイアップと装置を用いたオートクレープの加工方法も使い分ける。用途に応じたさまざまな製品を生み出している。

## 繊維強化プラ全般に自信



高い意識

あらゆる分野のFRP製品を手掛けてきた同社が、現在視野に入れているのが

「高い意識」  
「ISO9100」を取得見込みであるに加え、2011年には国際特殊工程認証システム「Nadaca」から「高い意識」が重要な。その高い意識は、従来の業務にも生かされていく。「もつと効率よく」

# 航空機分野参入で羽ばたく

## 中堅・中小・ベンチャー

オートクレープ(ナドキャップ)の認  
証を自指しており、受注に  
向けて準備を整えている。  
▲……………  
航空機産業  
すでに治工具で大手メーカ  
だ。同社が得  
1の取引口座を獲得し、部  
品についても引き合いが来  
るようになった。

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

「航空機産業参入に向け  
て取り組むことで、社内全  
体の空気が変わった」と豊  
留は語る。航空機産業は、  
工程管理や品質の安定が徹  
底して求められる分野。参  
入に必要な認証を取得する  
ためにも、小さな問題を見  
落さず改善することが

きないか「1」にすればよ  
なり高品質になる」と社員が  
工夫をこらし、社内は活性  
化している。

### 管理体制も向上

09年末に第2工場(大阪府摂津市)を、従来の約5倍にあたる延べ床面積約1000平方メートルに拡張。製造途中の製品を工程ごとに在庫管理するスペースを確保するとともに、設備の運搬がスムーズに行えるようにした。大型製品の受注も多いため、それまでは傷付けられないように動かすのに時間がかかっていた。「製品の工程間の移動が楽になり、作業の効率化につながっている」(豊留)。社内見込み)▽DNL▽ww

全体は管理体制向上が形に  
なっていた。  
10年に入ってから、ウ  
ェットレイアップとオート  
クレープに続く第3の製造  
法として、熱可塑性樹脂を  
使用したFRPのプレス成  
形の研究に取り組んでいる。  
航空機部品をはじめ、  
自動車部品やスポーツ用具  
などの量産に対応できる。  
新分野開拓を機に、茨木工  
業は大きく羽ばたくことし  
ている。  
(敬称略)

▽社長 豊留永久氏▽所在地 大阪府茨木市野々宮2の11の6、072・6322  
・48001▽従業員 46人  
▽資本金 1000万円▽売上高 5億円(11年3月期見込み)▽DNL▽ww  
w.frp-ibaraki.co.jp